

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
2	白川 和彦	使用教科書 新詳地理探究 (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)
必修 学校必修 必修選択 ○自由選択		補助教材・副教材 最新地理図表GEO (第一学習社) データブックオブ ザ・ワールド (二宮書店)

◆学習の目標

世界の諸課題を地理的な視野でとらえ、持続可能な社会の在り方について探究する力を身につける。
 系統地理的な考察を行い、テーマごとに知見を一般化できるようになる。
 地誌的な考察を行い、地域ごとの特性や知見を一般化できるようになる。
 習得した知識や概念を活用して、現代世界における日本の国土像を探究・構想できるようになる。

◆主な学習内容・方法

- (1)「地理総合」での「問い」をもとに進める学習を継続し、系統地理的な知識を獲得し、現代世界を地誌的な視点から整理、考察することで、問いの解答を論理的に説明できるようにする。
 (2)教科書と授業プリントを教材として、主として講義形式で学習する。

◆到達目標と観点別評価の評価規準

- 〔標準〕現代世界の地理的認識を深め、地理の基礎的・基本的な知識・技能を習得する。
 地理的事象の考察に、地理情報システムを活用する技能を習得する。
 〔応用〕現代世界の新たな課題や問題に対して、思考力・判断力・表現力その他能力を活用して、既習範囲の大学入試問題にも対応できる学力を身に付ける。
- 〔観点別評価の評価規準〕
- 知識・技能
 世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性、地域的特色や課題を調査や諸資料から考察し、地図や地理情報システムなど「地理総合」で習得した地理的な技能を用いて、適切かつ効果的に調べ、整理、理解がなされている。
- 思考・判断・表現
 地理に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、それらを基に説明、議論したりしている。
- 主体的に学習に取り組む態度
 地理に関する諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

◆年間予定授業時間

予定時数	70時間	1学期 (26時間)	2学期 (28時間)	3学期 (16時間)
------	------	------------	------------	------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- ・地理の学習で大切なことは、多面的・多角的な視野を持つことである。さまざまな地理的事象に関して、場所や分布、広がりの特徴をとらえ、「なぜ、そのようになるのか」という背景について、因果関係を考察することが大切である。暗記するのではなく、事物の道理を追究、理解することである。
- ・授業時間を大切にすること。作業や考察の時間を無駄にしない。他者の意見や解答に注目し自分の考えとの相違をよく見直す。話の内容をメモするなどして自分の学習ノートを作成する。
- ・ニュースなどを通して社会情勢に関心をもつことも、現代世界の特徴を学ぶ上で有効である。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間数	学習の内容	学習到達目標	
1 学期	4	自然環境と産業	6	地形・気候の分布と影響 産業と地域社会の変容	自然環境の成り立ちと分布、特徴を理解している。 産業の成り立ちと経済社会の形成、地域の特性を理解している。 交通機関ごとの特性と実際の活用形態を理解している。 世界貿易の拡大の様子を説明できる。 人口転換と人口増加の関連を経済と結び付けて理解できている。 集落の成り立ちと形成過程の特徴を理解している。 都市の発展と、各都市の特徴を理解している。 世界の民族分布と言語、宗教の関係を把握できている。	
	5	交通、通信と観光	8	交通機関の特徴と観光、貿易 通信の発達と情報化社会の形成 中間考査		
	6	人口、村落・都市	8	世界の人口と人口問題 村落の形成と都市の発達		
	7	生活文化、民族	4	世界の生活、文化、民族と宗教 期末考査		
2 学期	8	アジア地誌	10	東アジアの環境と生活 東南アジアの環境と生活 南アジアの環境と生活 西アジア・中央アジアの環境と生活	中国文化と周囲諸国へ与えた影響を理解している。 東南アジア諸国を文化の相違、独立後の変化から理解できている。 南アジア社会の形成を理解している。 西アジア社会とイスラーム社会の地域性を理解している 広大なアフリカの多様性を理解している。 一つのヨーロッパに向かう地域の特徴を理解している。 アメリカという移民による社会形成の過程と国家の相違を理解している。 歴史的に見たイギリスとの関係を柱に地域の特徴を理解している。 日本の地域の課題を把握し、将来の展望を考察できる。	
	9	アフリカ地誌	4	アフリカの国々 中間考査		
	10					
	11	ヨーロッパ地誌	6	EUの形成と発展		
	12	アメリカ地誌	4	アングロアメリカとラテンアメリカ		
	12	オセアニア地誌	2	大洋州の国々		
3 学期	1	日本の国土像	2	日本社会の形成と発展 期末考査	大学入試問題の過去問演習。	
	2	入試問題演習	16	大学入試問題演習		
	3					

